

宮崎市は5日、宮崎公立大（辻利則学長）の理事長を、初めて公募すると発表した。これまでは同市職員OBから起用してきたポストで、任期は2027年4月から4年間。12月4日まで応募を受け付ける。

市総合政策課によると、理事長は大学の経営を統括し、学長の任命や予算編成などを担う。同大学への志願者数の不安定さや卒業生の県内就職率の低さ、持続可能な財務運営基盤の確立などの課題に対応するため公募を決めたという。年齢や現住所は問わず、報酬は年1200万円程度。人選は書類選考と面接

公立大理事長を初公募

宮崎市 志願者数など課題対応

で行う。同日の定例会見で公募を明らかにした清山知憲市長は、求める人物像について「経営に関する高い知識を有し、大学の魅力向上に資する人物」「大学の魅力向上に資する人物」「大学を広く発信し地域連携を推進できる人物」などと説明。「市役所で探すより、公募の方が求める人材の応募が期待できる」と述べた。

市は同大学に対し、運営費として毎年約8億円を交付している。同大学は来年4月に人文学部を国際情報学科を新設し、国際文化学科との2学科体制となる。

（川畑周平）